

一般質問（要旨）「市政のここを問う」

今定例会では、15名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。

会議録は8月上旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。

また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。

※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。



議員BOOK

福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)



横田基地について

質問 昨年8月の横田飛行場におけるPFOS等を含む水の漏出事案での米側の説明内容を伺う。

市長 今年4月に北関東防衛局より、米側が貯水池の残水を粒状活性炭フィルターで浄化し雨水排水路へ放流する旨と、濃度が50ng/Lを下回れば当該放流は許容されると環境省に確認したとのことから、国へ放流の際のサンプル調査等を要請。立入

調査時の測定値が、50ng/Lを大幅に下回ったため、5月末より放流が開始された。防衛省は公共用水域でのサンプル調査を複数回行う。引き続き適切な情報発信に努めるとともに、都や周辺自治体と連携し対応する。

市の物価高騰対策について

質問 今般の物価高騰に対する市の認識と対応策等を伺う。

市長 本市では、国の交付金を活

用し、介護サービス事業所等への支援や住民税非課税世帯への給付事業を実施してきた。また、キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施するとともに、定額減税不足額給付金給付事業を現在準備中。国の交付金増額を受け、高齢者にお米券を配布する事業の追加補正予算案を今定例会に提出予定。引き続き市民や事業者の生活を守る対策を講じていく。



正和会
小林 貢 議員



▲キャッシュレス決済ポイント還元事業のポスター

市が管理する道路及び公園等における樹木の管理について

質問 市が管理する道路や公園等における樹木の安全管理策を伺う。

市長 市では、これまで「福生市緑の基本計画」等に基づき緑の持続可能性を保つことを重点に置き緑化に取り組んできたが、長い年月により多くの樹木が大木化・老木化し、街路樹の通行や視認への障害、公園の樹木の民有地への越境、施設の損壊など、安全に支障を来すものが出

ている。市では、街路樹や公園の樹木の維持管理に係る指針等は作成していないが、各施設の所管課が随時日常点検を実施、必要に応じ樹木の剪定及び伐採を行い、倒木の危険のある樹木等は東京都の樹木診断マニュアルや樹木医など専門家の意見を伺うなど、適切な対応に努めている。

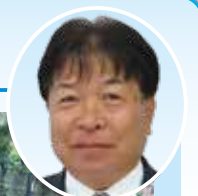
令和7年度の「平和のつどい」について

質問 戦後80年となる今年の「平和のつどい」の内容を伺う。

市長 当初、8月開催の「平和のつどい」で戦争に関連した劇場アニメーション映画の上映とトークイベントを予定していたが、映画のリバイバル上映の影響により10月へ延期。8月は、戦争経験者の講演会を開催し、2つの事業により終戦後80年の節目にふさわしいものにしたい。



正和会
森田 哲哉 議員



▲市で管理する道路の樹木管理の様子

民間企業との連携について

質問 本市の企業版ふるさと納税に関する取り組みについて伺う。

市長 令和7年3月の福生市人口ビジョン及び総合戦略策定に伴い、新たに制度を活用するため地域再生計画を作成し国の認定手続を進めている。企業版ふるさと納税をきっかけとした、新たな包括連携協定の締結や既に締結している企業からの寄附も期待できる。民間企業も社会貢

献の取り組みをPRする機会が増えるほか、寄附額の最大9割の税額控除など税制上の優遇措置を受けられる。本制度は地域の活性化につながる重要な取り組みであり同時に、民間企業との連携の機会を増やすものと認識しており導入に向け進めたい。

原ヶ谷戸地区周辺の道路整備について

質問 原ヶ谷戸第二交差点は交通

量が非常に多く渋滞が発生しやすい。本市の考えを伺う。

市長 多摩橋通りは、車の通過交通量が多く、同交差点やJR青梅線志茂踏切付近で朝夕を中心に渋滞が発生していることは認識している。解消には、志茂立体交差工事や産業道路延伸の早期完了が重要であり、早期完成を要望するとともに、引き続き都に全面的に協力していく。



正和会
山崎 貴裕 議員



▲原ヶ谷戸第二交差点

通学路及びスクールゾーンの標識・標示等について

質問 本市の通学路及びスクールゾーンの標識・標示等の維持管理や更新について所見を伺う。

市長 本市では、劣化や摩耗した道路標識、道路標示など道路施設の不具合は、市実施の道路パトロールや教育委員会が行う通学路点検のほか、市民からの情報提供等により把握し、不具合は可能な限り早期の更新等に努めている。対応結果は、学

校関係者へフィードバックし、必要に応じ対策内容の改善・充実を図るなど、通学路の安全確保に向けたPDCAサイクルを実践している。

持続可能な航空燃料（SAF）について

質問 今年9月に開催される東京2025世界陸上において、アスリートが移動する航空機の燃料にSAFを活用する取り組みが行われ、都が原

料の使用済み食用油を家庭等から回収するキャンペーンを開始したとのことだが、本市の対応を伺う。

市長 廃食用油の回収にオール東京で取り組み、SAFの製造につなげるもので、本市では6月16日から10月31日に市役所1階に回収ボックスや世界陸上ののぼり旗を設置する。市民へはホームページや6月15日号の市広報で周知する。



公明党
原田 剛 議員



▲通学路点検の様子